2026年10月4日　昼下がりの演奏会　＃12
於：CampGear&Cafe BASE

13:30～プレトーク／14:00～演奏会

- Performer -

Soprano

中田龍河

中村和奏

奥柚葉

- Program -

《フィガロの結婚》 お先へどうぞ（W.A.モーツァルト　作曲）

《フィガロの結婚》そよ風に寄せて（W.A.モーツァルト　作曲）

《コジ・ファン・トゥッテ》わたしは黒髪の方を選ぶわ（W.A.モーツァルト　作曲）

《リトル・マーメイド》パート・オブ・ユア・ワールド（アラン・メンケン　作曲）

《アラジン》ホール・ニュー・ワールド（アラン・メンケン　作曲）

《リメンバー・ミー》音楽はいつまでも（ジャーメイン・フランコ　作曲）

誘い（ジョアキーノ・ロッシーニ 作曲）

愛させてほしい（ステファノ・ドナウディ　作曲）

ピエ・イエズ（アンドリュー・ロイド＝ウェバー　作曲）

《オペラ座の怪人》シンク・オブ・ミー（アンドリュー・ロイド＝ウェバー　作曲）

《ウィキッド》大嫌い（スティーヴン・シュワルツ　作曲）

《ウィキッド》あなたを忘れない（スティーヴン・シュワルツ　作曲）

いのちの名前（久石譲　作曲）

ふるさと（岡野貞一　作曲）

《フィガロの結婚》　お先へどうぞ

（W.A. モーツァルト　作曲）

モーツァルト（1756-1791）の歌劇《フィガロの結婚》は、1786 年に初演された喜劇。伯爵の召使いフィガロとスザンナの結婚をめぐって、恋愛や身分をめぐる騒動が繰り広げられる。

この二重唱は、『喧嘩の二重唱』ともいわれ、フィガロとスザンナが互いに「あなたが先に」と譲り合う……と思いきや、実際にはなかなか話が進まない、二人の小さな「喧嘩」を描いた場面。軽快な音楽の中に、二人の性格や関係性が見えてくる。

《フィガロの結婚》　そよ風に寄せて

（W.A. モーツァルト　作曲）

同じ《フィガロの結婚》から、今度は「手紙の二重唱」。伯爵夫人とスザンナが、伯爵を懲らしめるための計画を立てる。伯爵夫人が手紙を書き、スザンナがその内容を歌う。

「そよ風に寄せて」という美しい旋律に乗せて、二人の女性が声を重ねていく。二人の声が寄り添うように響くところに注目したい。

《コジ・ファン・トゥッテ》
わたしは黒髪の方を選ぶわ

（W.A. モーツァルト　作曲）

《コジ・ファン・トゥッテ》は「女はみんなこうしたもの」というような意味で、1790 年に初演されたモーツァルトの歌劇。恋人たちの愛を試す「実験」から、思いがけない恋愛模様が展開していく。

この曲は、二人の姉妹のうち、フィオルディリージが「私は黒髪の男性を選ぶ」と歌うアリア。華やかで軽快な音楽の中に、恋する女性の気持ちが描かれている。

《リトル・マーメイド》
「パート・オブ・ユア・ワールド」

（アラン・メンケン　作曲）

アラン・メンケン（1949-）は、ディズニーの黄金期を支えた稀代のメロディーメーカー。人間の世界に憧れる人魚のアリエルが歌う代表曲で、「（海の外の）人間の世界で暮らしたい」という彼女の願いや憧憬が描かれる名曲。公開前にはこの曲のシーンがカットされる危機もあったというが、このシーンが残ったからこそ名作になったといっても過言ではない。

《アラジン》「ホール・ニュー・ワールド」

（アラン・メンケン　作曲）

『リトル・マーメイド』『美女と野獣』は、作詞家ハワード･アシュマンとのコンビでの作品。実は二人は『美女と野獣』よりも前に『アラジン』に取り掛かっており、途中で『美女と野獣』がミュージカル映画となることになってから、『アラジン』を中断し先に『美女と野獣』を仕上げた。その頃、ハワード・アシュマンは HIV に感染しており、命が長くないことを打ち明け、完成させたのちに亡くなってしまう。実際、『美女と野獣』のエンドクレジットの最後に、ハワード・アシュマンへの追悼文がある。

さてこの曲は、ハワード・アシュマンが亡くなった後に取り掛かった曲で、作詞はティム・ライスによるもの。言わずと知れた名曲である。魔法の絨毯で世界一周をする……考えてみれば恐ろしい速度なのだが。お二人よくぞご無事で。

《リメンバー・ミー》　音楽はいつまでも

（ジャーメイン・フランコ　作曲）

映画『リメンバー･ミー』の最後に流れる「音楽はいつまでも（Proud Corazón）」。音楽をめぐる家族の記憶と、世代を超えて受け継がれる思いが作品の大きなテーマとなっている。

明るく陽気なメキシコ音楽の雰囲気を持つ一方で、物語を通して描かれてきた「音楽が家族をつなぐ」というテーマが込められた一曲。映画のエンディングを飾る、温かく晴れやかな音楽である。

誘い

（ジョアキーノ・ロッシーニ　作曲）

ジョアキーノ・ロッシーニ（1792-1868）は、《セビリアの理髪師》や《ウィリアム・テル》などで知られるイタリアの作曲家。歌劇だけでなく、多くの歌曲も残している。この曲は恋する相手を誘うような、軽やかで華やかな歌曲である。オペラとはまた違った、ロッシーニの歌の魅力を楽しみたい。

愛させてほしい

（ステファノ・ドナウディ　作曲）

ステファノ・ドナウディ（1879-1925）は、イタリア・シチリア島出身の作曲家。短い曲の中に、相手への熱い思いが込められている。イタリア歌曲らしい、伸びやかな旋律と歌声を味わいたい。

ピエ・イエズ

（アンドリュー・ロイド＝ウェバー　作曲）

『オペラ座の怪人』『キャッツ』『エビータ』などで知られるアンドリュー・ロイド＝ウェバー（1948-）の珍しいミサ曲。祈りのように歌われる美しく静かな旋律が魅力である。

《オペラ座の怪人》「シンク・オブ・ミー」

（アンドリュー・ロイド＝ウェバー　作曲）

クリスティーヌが歌う代表的なナンバー。「私のことを忘れないで」という思いを、美しく伸びやかな旋律に乗せて歌う。このミュージカル、クリスティーヌの幼馴染であるラウルが（空回りも多いが）何かと不憫である。

《ウィキッド》　大嫌い！

（スティーヴン・シュワルツ　作曲）

スティーヴン・シュワルツ（1948-）による、『ウィキッド』の音楽。童話『オズの魔法使い』の「西の悪い魔女」が、なぜ「悪い魔女」と呼ばれるようになったのかを描いたミュージカル。「大嫌い！」では、性格も考え方も正反対のエルファバとグリンダが、出会ったばかりの頃に互いを嫌い合っている様子が描かれる。二人の歌がぶつかり合うように展開する、コミカルで楽しい二重唱。

《ウィキッド》　あなたを忘れない

（スティーヴン・シュワルツ　作曲）

「大嫌い！」でぶつかり合っていたエルファバとグリンダ。その二人が、物語の最後には互いを思いながら別れを迎える。二人が出会ったことで、お互いの人生が変わったことを歌う、美しい二重唱である。

いのちの名前

（久石譲　作曲）

『千と千尋の神隠し』から。この映画では「名前」が自分自身や記憶と深く結びつく重要な要素として描かれるが、「いのちの名前」という題名の通り、人が生きることや、誰かを思うことを静かに感じさせる一曲。

ふるさと

（岡野貞一　作曲）

岡野貞一（1878-1941）による誰もが知るこの曲。演奏会の最後に、二人の歌声とピアノで聴く「ふるさと」。客席の皆さんにも、それぞれの「ふるさと」を思い浮かべながら聴いていただきたい。

（文・仮屋賢一）

【演奏者】

ソプラノ：

中澤心音（なかざわ・ここね）

石川県出身。大阪音楽大学声楽専攻2年次在学中。第31回石川県高等学校声楽コンクール第3位、第32回同コンクール第1位を受賞。第43回白山市青少年音楽コンクール金賞、第11回さかい九頭竜音楽コンクール金賞ならびに部門総合第1位の坂井市長賞を受賞。第106回全国高等学校野球選手権石川大会開会式にて国歌および大会歌を独唱。2024年、金澤芸術文化交流ネット サルーテ主催「オペラの学校」企画 オペラ『ヘンゼルとグレーテル』に眠りの精役で出演。これまでに津野里絵子、石橋栄実の各氏に師事。

ソプラノ：

松田りお（まつだ・りお）

京都堀川音楽高等学校を経て、現在大阪音楽大学声楽専攻 2 年在学中。第 31 回日本クラシック音楽コンクール全国大会入選、第 21 回大阪国際音楽コンクールファイナル入選、第 1 回プリマヴェーラ声楽コンコルソ本選入選。これまでに吉武貴子、高島依子、各氏に師事。現在、石橋栄実氏に師事。

ピアノ：

連一矢（むらじ・かずや）

滋賀県大津市出身。13 歳よりピアノと作曲を始める。滋賀県立石山高等学校音楽科を経て、大阪音楽大学作曲専攻卒業。同大学院音楽研究科作曲研究室修士課程修了。これまでに作曲を清水幸子、高昌帥の各氏に、ピアノを光永秀子、萩原吉樹、富岡順子の各氏に師事。現在はソロや室内楽を中心に作曲・演奏活動を展開するほか、即興演奏家としても活動。美術作品や朗読など多様な表現、芸術家との共演を重ねている。大阪音楽大学作曲助手、同大学付属音楽院講師。アリス音楽教室代表。関西現代音楽交流協会、今様音楽企画等に所属。

プレトーク・司会：

仮屋　賢一（かりや・けんいち）

作曲家で俳人。2025 年、大阪・関西万博のステージのために『Uni-Tunes』を作曲、指揮も務める。2017 年、イタリア・アルバ音楽祭に参加。2024 年 3 月にはオリジナルミュージカル曲の作詞作曲を担当。また、「美山音楽祭」の準備・企画・運営をする。今年 9 月 17 日から 23 日にかけて開催された第 4 回美山音楽祭では、MC やワークショップ、ラストコンサートの指揮なども行う。作曲は独学。今様音楽企画、関西現代音楽交流協会、関西室内楽協会。俳句雑誌「奎」代表。

昼下がりの演奏会
於：CampGear&Cafe BASE

《今後の予定》

#13：11 月 22 日（日）
２人のサクソフォン＆ピアノ

#14：12 月 20 日（日）
木管八重奏

最新情報は Web サイトをチェック！

13:30 ～プレトーク／ 14:00 ～演奏会
入場無料・0 歳から入場可・出入自由

12 月 25 日（金）夜
クリスマスコンサート開催決定！
メール・LINE でいち早く情報ゲット！

～「昼下がりの演奏会」とは～

ここ CampGear&Cafe BASE を、「誰でも気軽に音楽と触れ合える」場にしたい、そんな思いで 2025 年 11 月に開始したシリーズです。本格的でありながら、ふらっと訪れて、気軽に楽しめる演奏会です。

普段クラシックに馴染みのない人でも、よく行く公園でふらりと立ち寄った先で音楽に触れられる、そんな空間を作ることで、クラシックに親しみを持ってもらい、音楽の世界のファンになってもらいたい！　また、新進気鋭の若手音楽家にとって、演奏の場だけでなく、お客様と交流できる場を作りたい！　そんな思いで、この演奏会を企画しております。

主催：合同会社リコラボ
代表　仮屋賢一（作曲家・俳人）
ウェブサイト　https://ricollab-create.com/
お問い合わせ：075-275-7570
info@ricollab-create.com

右の QR コードから LINE 友だち登録して、イベント最新情報を GET ！　ここからお問い合わせもしていただけます。